

# 『庄内っこ日和』

## もりのこっこ年中（冬） 能勢野外センターでハイキング&自由あそび

令和3年12月20日 庄内こどもの杜幼稚園 教頭 岩崎巧

はじめに…

保護者の皆様いつも当幼稚園のもりのこっこにご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。  
この『庄内っこ日和』は、令和元年度から掲示用として始めた、当学園の理念や方針と重ね合わせながら、園外保育での子どもたちや先生の様子を、皆様にお伝えする”ドキュメンテーション”です。  
晴れたよい天気という意味もある日和という言葉は、庄内っこの未来を明るく照らしています。  
このお便りを通して、日々子ども達や先生の様子や当幼稚園の考えを少しでも知って頂けるきっかけとなれば幸いです。今回は、年中組もりのこっこ（冬）能勢野外センターでハイキングの様子をお伝えしたいと思います。

今回のねらい: ハイキングを楽しむ。

年長に向けて能勢を知る上で、様々な自然な物に触れ合う経験や体験をする。  
当幼稚園の「もりのこっこ」とは、「鎮守の杜(もり)の子ども(つまり当学園の子ども)」が、「森の子ども」になるという意味です。子どもは、平常保育時以上に五感をフル活用しながら、四季ごとに活動する経験をしませう。それが、情操豊かな人間になる大事な活動であると思っています。（庄内の保育の根っこp37参照）

今年度で、初の年中組の能勢野外センターでの活動となりました。昨年までは、五月山での活動でしたが、より年長でのお泊まり保育の活動を活かすことが出来るようにと、今年度から能勢野外センターで活動する事になりました。

今回は、ハイキングに神社参拝・自由あそびと盛りだくさん。その様子をご覧ください。

ハイキングの後は、自由あそびを楽しみました。落ち葉に埋もれて「ここは温泉屋さんです」と葉っぱや土の温かさを温泉と表現したり、ふらんこでは、自分たちでオリジナルの歌を歌ったりしながら遊んでいました。  
「エモい」でいろんな感情を表現してしまうのではなく、その場で感じた事を豊かに、ありのままに表現出来る子どもたちの無限の可能性を感じました。この感性をより豊かに出来るのが、この自園のもりのこっこだと思っています。

カブトムシ  
広場で  
自由あそび



原林神社  
まで  
ハイキング

野外センターに到着した子どもたちは、原林神社まで歩いて行きました。片道450m往復約1キロの距離を歩きました。神社に着くとみんなで参り。お当番さんが前に立ってお参りをしてきました。



ハイキングの後は、美味しいおにぎりと、お味噌汁！

